

第11回 放射能の農畜水産物等への影響についての研究報告会



—研究科・附属施設全体を通した取り組み—

中西友子



東京大学農学部における震災復興支援への取り組み

東京大学 災害対策本部

東日本大震災に関する救援・復興支援室

福島県農業総合センター

農学生命科学研究科

(1) 高放射能の農畜水産物産業への影響

① 作物・穀物

② 家畜・畜産物

③ 土壌・微生物

④ 魚介類、海水

⑤ 放射線測定

⑥ 科学コミュニケーション他

演習林

牧場

生態調和農学機構
(圃場)

水産実験所

食の安全センター

放射性同位元素施設

応用生命化学・工学

生産・環境生物

獣医学

応用動物科学

森林化学

生物環境工学

生物材料科学

水圏生物学

(2) 被災地農業回復についての研究開発

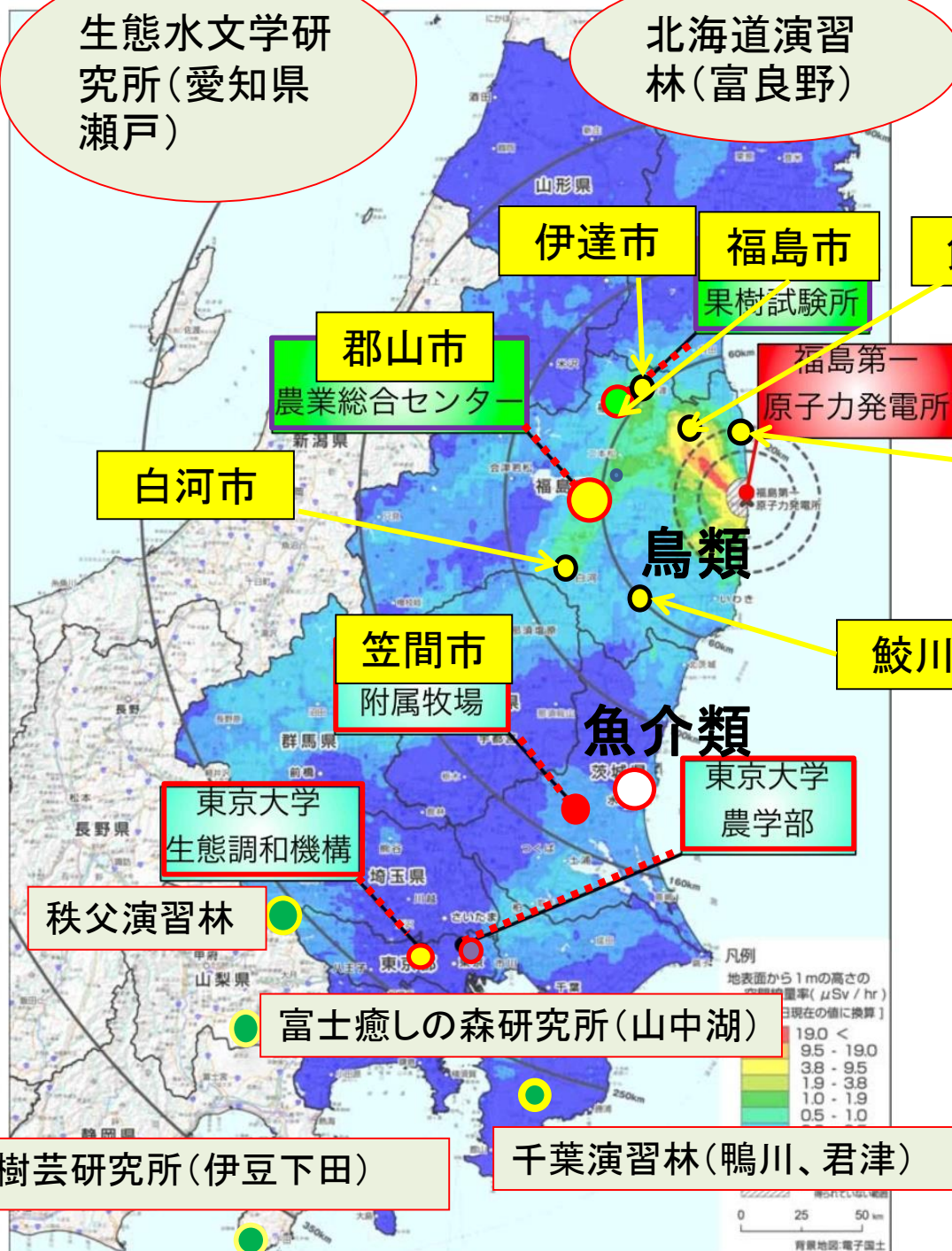
① 作物生産・土壌学

② バイオマス生産

生態水文学研
究所(愛知県
瀬戸)

北海道演習
林(富良野)

伊達市:イネ 環境動態



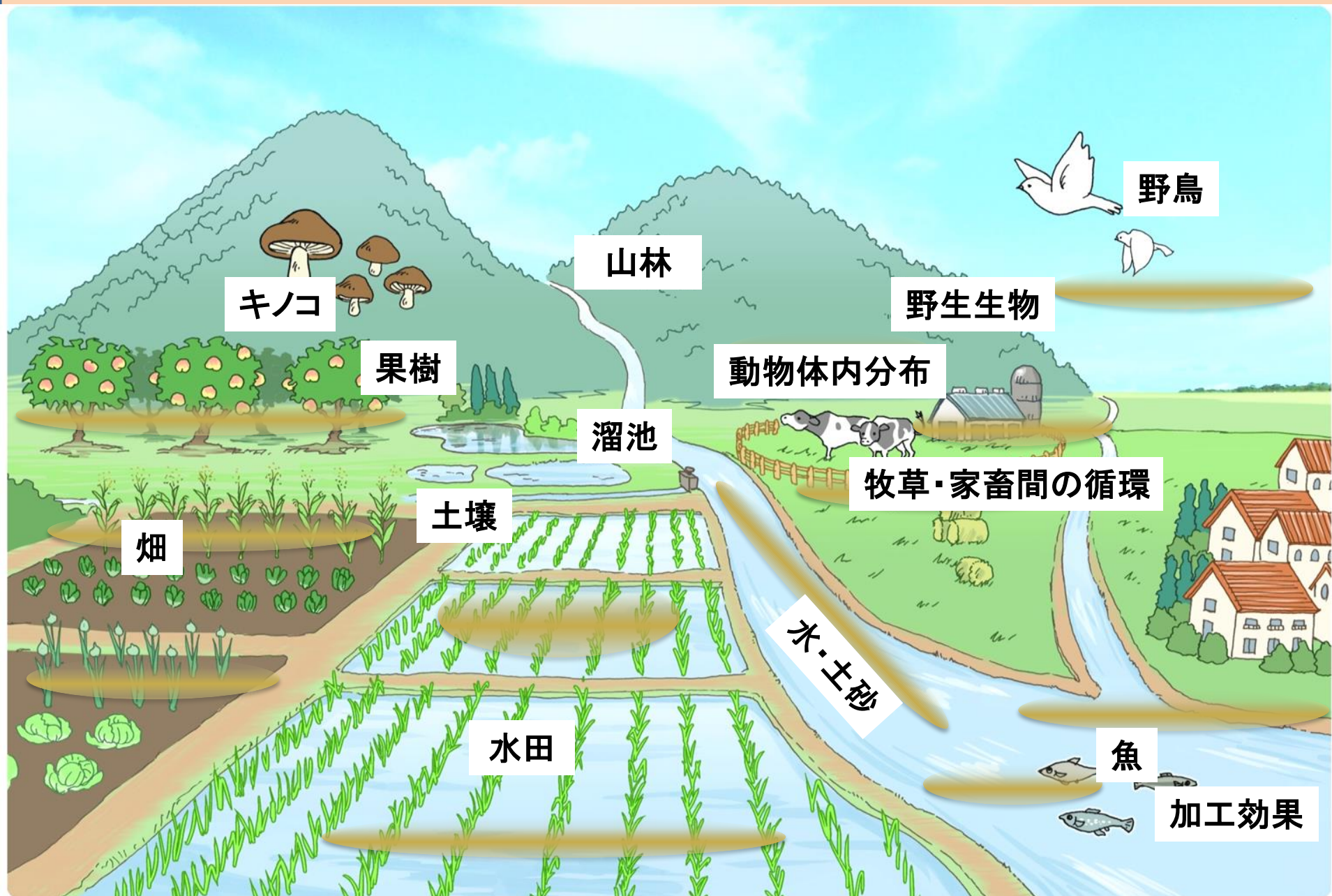
飯館村 : イノシシ、
(村から要請) 水田除染

南相馬市 : ブタ、イネ
ダイズ

白河市 : ヒツジ
鮫川村 : 果樹、野菜
福島市 : 果樹
郡山市 : 穀物・野菜
笠間市 : ヤギ

野生生物調査

東京大学農学部で進行中のプロジェクト



2011年

成果の発表

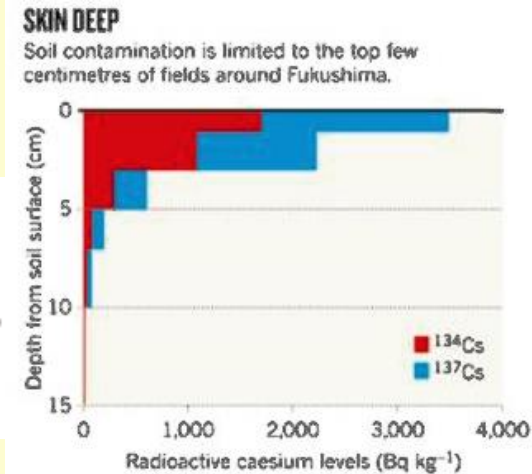
6月: Radioisotopes誌 5報(日本語)⇒8月号掲載

海外での報道

Published online 12 July 2011 | Nature | doi:10.1038/475154a

No fallout legacy for Japan's

David Cyranoski



BOOSTER SHOTS: ODDITIES, MUSINGS AND NEWS FROM THE HEALTH WORLD

Los Angeles Times | Saturday, July 30

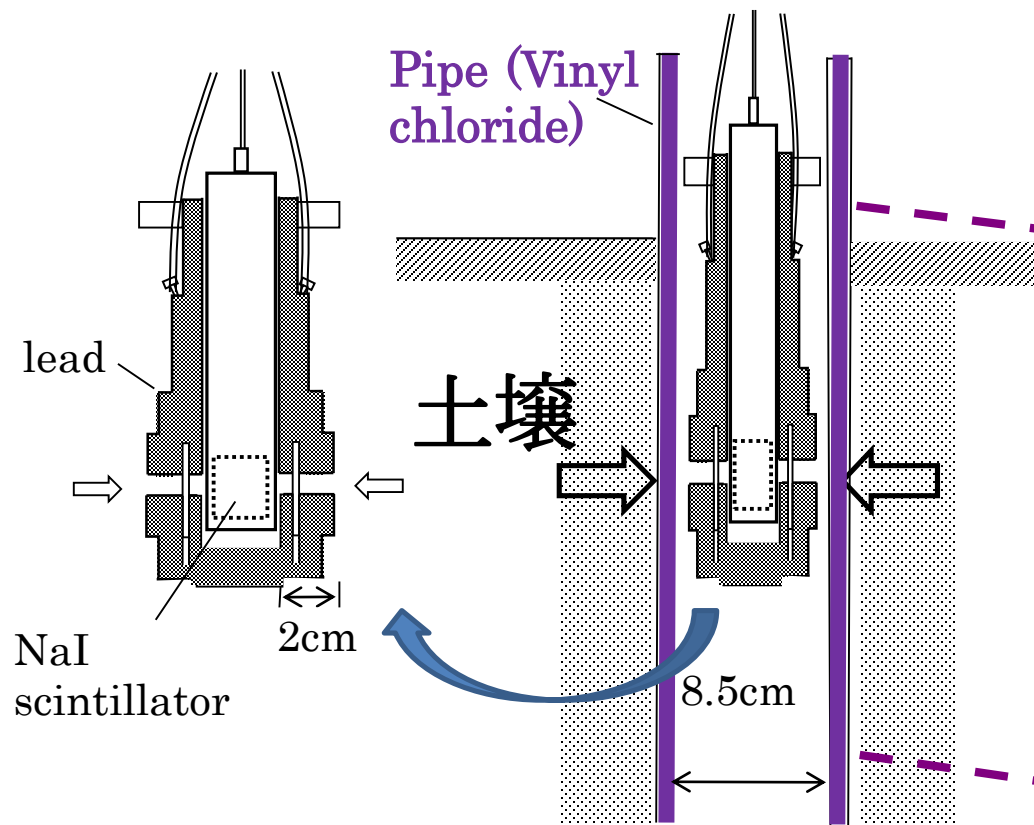
Japanese crops can be safe to eat despite radiation from nuclear plant, scientists say

イギリス: BBC 22時ニュース

イギリス: BBC 全米向けラジオ放送

ドイツ: ZDF, Spiegel

土壤深度別 γ 線測定



by Prof. S.Shiozawa

6月時点で纏めた研究成果(8月掲載)

(敬称略)

塩沢 昌 他

福島県郡山市の**水田土壌**における放射性セシウムの深度別濃度と移流速度

田野井慶太郎
根本圭介 他

福島県における降下した放射性物質の**コムギ**組織別イメージングとセシウム¹³⁴およびセシウム¹³⁷の定量

野川憲夫
橋本健 他

福島県郡山市の水田および畑作土壌からの¹³⁷Cs、¹³⁴Csならびに¹³¹Iの**溶出実験**

眞鍋昇
李 俊佑 他

福島第一原子力発電所事故後の牧草を給与した**牛の乳**における放射性物質濃度

大下誠一 他

低濃度放射性降下物に起因した**土壌および野菜**の放射性核種濃度の測定—東京大学大学院農学生命科学研究科付属生態調和農学機構における事例—

研究場所

福島県
農業総合
センター

附属牧場

田無(圃場)

2011年11月19日(1回目)

2012年2月18日(2回目)

ー東日本大震災に関する救援・復興に係る 農学生命科学研究科の取組みー

●プログラム

開会の辞 長澤 寛道 東京大学大学院農学生命科学研究科長
開会にあたって 前田 正史 東京大学理事・副学長(救援・復興支援室長)

農学生命科学研究科全体の取組について

中西 友子 (東京大学大学院農学生命科学研究科・附属放射性同位元素施設・教授)

福島県農業総合センターの取り組み

吉岡 邦雄 (福島県農業総合センター生産環境部・部長)

放射性セシウムのイネへの移行

根本 圭介 (東京大学大学院農学生命科学研究科・生産・環境生物学専攻・教授)

土壌中の放射性セシウムの挙動

塩沢 昌 (東京大学大学院農学生命科学研究科・生物・環境工学専攻・教授)

乳牛における放射性セシウムの動態

李 俊佑 (東京大学大学院農学生命科学研究科・附属牧場・助教)

低濃度汚染土壌における野菜への放射性核種の移行

大下 誠一 (東京大学大学院農学生命科学研究科・生物・環境工学専攻・教授)

高線量地帯周辺における野生動物の生態・被曝モニタリング

石田 健 (東京大学大学院農学生命科学研究科・フィールド支援担当・准教授)

魚貝類の汚染

潮 秀樹 (東京大学大学院農学生命科学研究科・水圏生物科学専攻・准教授)

農学生命科学研究科で取り組んでいるその他の成果

田野井 慶太郎 (東京大学大学院農学生命科学研究科・生物生産工学研究センター・助教)

閉会の辞 長澤 寛道 東京大学大学院農学生命科学研究科長

日 時／2011年11月19日(土)13:00~17:00

場 所／東京大学安田講堂

対 象／一般(どなたでも参加できます)

定 員／600名(当日先着順、事前登録不要)

参加費／無料

※お車でのご来場はご遠慮願います。

主 催：東京大学大学院農学生命科学研究科 後 援：東京大学救援・復興支援室

放射能の影響について
畜水産物等への影響

イネ

土壌

乳牛

低濃度汚染

鳥

魚貝類

福島から

ー東日本大震災に関する救援・復興に係る 農学生命科学研究科の取組みー

長澤 寛道 東京大学大学院農学生命科学研究科長

農学生命科学研究科全体の取組について

中西 友子 (東京大学大学院農学生命科学研究科・附属放射性同位元素施設・教授)

農産物に対する放射性物質の影響調査

荒川 市郎・二瓶 直登 (福島県農林水産部)

放射性セシウムのイネへの移行(第2報)

根本 圭介 (東京大学大学院農学生命科学研究科・生産・環境生物学専攻・教授)

水田における土壌から稲への放射性セシウム移行のメカニズムについて

塩沢 昌 (東京大学大学院農学生命科学研究科・生物・環境工学専攻・教授)

畜産業の復興について：南相馬市警戒区域内における

眞鍋 昇 (東京大学大学院農学生命科学研究科・附属牧場・教授)

魚類筋肉への放射能セシウムの蓄積と水洗による除去

渡部 終五 (東京大学大学院農学生命科学研究科・水圏生物科学専攻・教授)

果樹における放射性核種の移行と分配について

高田 大輔 (東京大学大学院農学生命科学研究科・附属生態調和農学機構・教授)

演習林における野生キノコの汚染状況

山田 利博 (東京大学大学院農学生命科学研究科・附属演習林・教授)

閉会の辞 長澤 寛道 東京大学大学院農学生命科学研究科長

日 時／2012年2月18日(土)13:00~17:00

場 所／東京大学安田講堂

対 象／一般(どなたでも参加できます)

定 員／600名(当日先着順、事前登録不要)

参加費／無料

※お車でのご来場はご遠慮願います。

主 催：東京大学大学院農学生命科学研究科 後 援：東京大学救援・復興支援室

第二回放射能の影響についての研究報告会
畜水産物等への影響

イネ

土壌

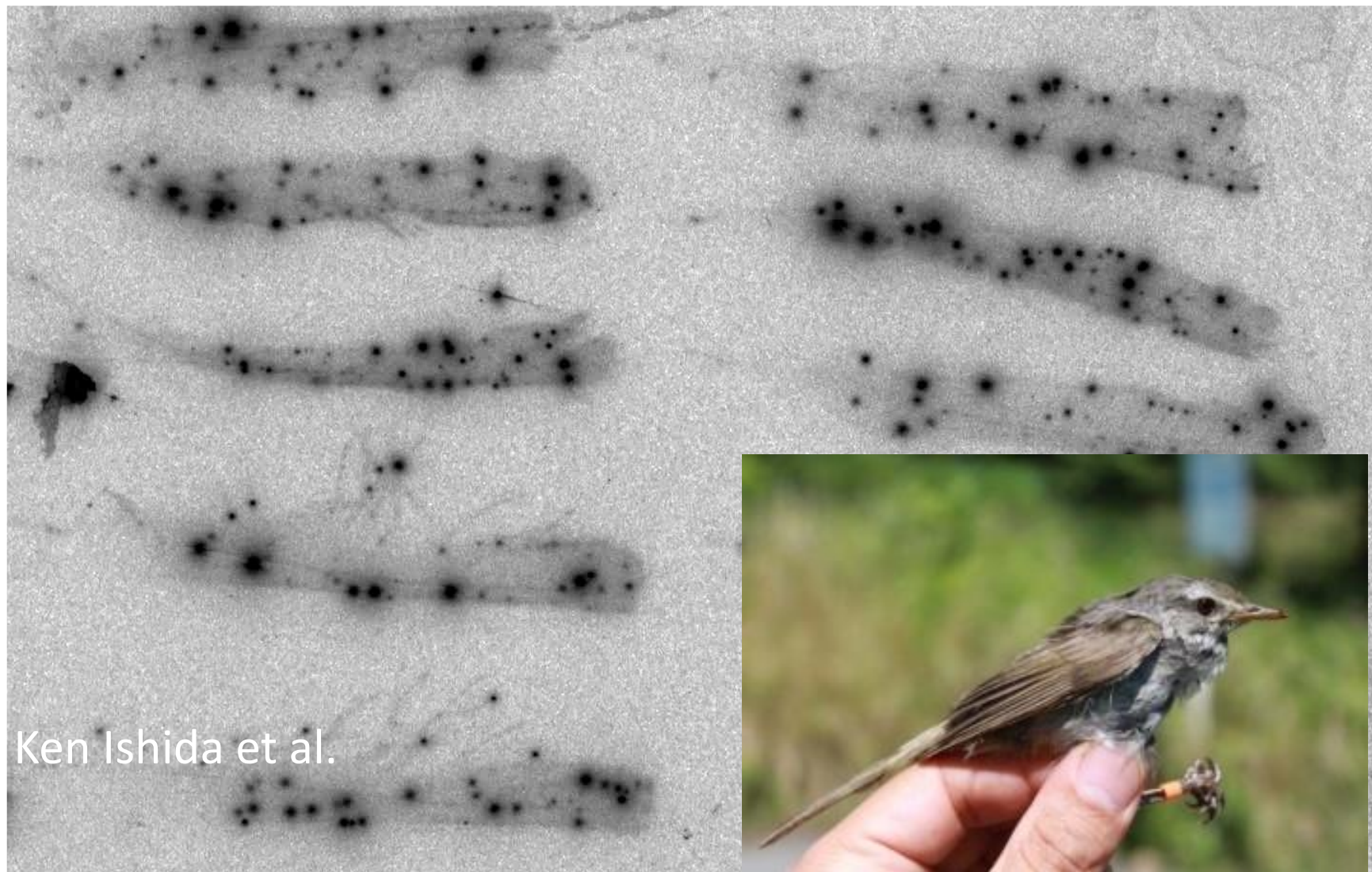
畜産業

魚加工

果樹

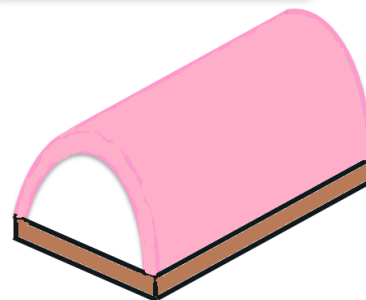
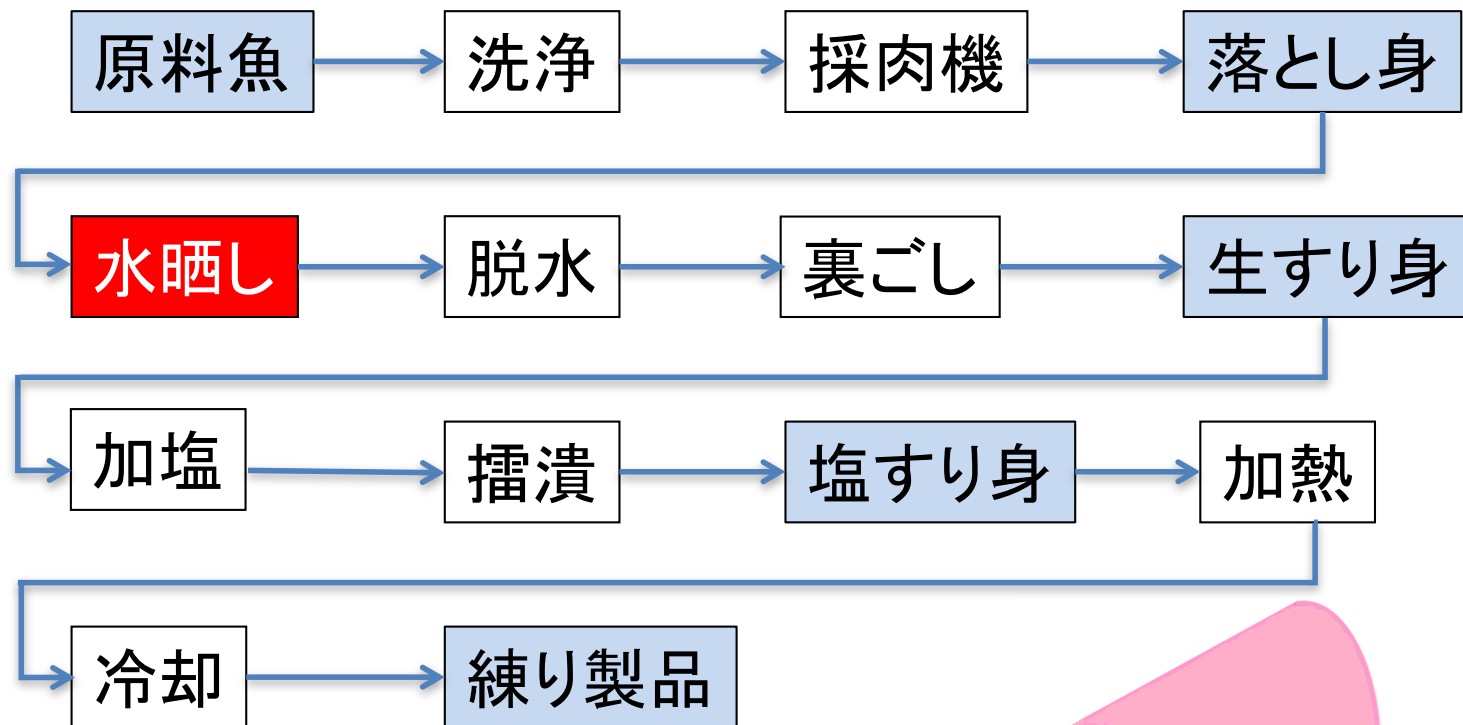
キノコ

野鳥:ウグイスの羽



Ken Ishida et al.

水産練り製品の製造工程



2012年5月26日(3回目)



ー東日本大震災に関する救援・復興に係る 農学生命科学研究科の取組みー

●プログラム

開会の辞 長澤 寛道 東京大学大学院農学生命科学研究科長

農学生命科学研究科全体の取組について
中西 友子 (東京大学大学院農学生命科学研究科・附属放射性同位元素施設・教授)

水稲における放射性セシウムの吸収解析と低減対策

佐藤 誠 (福島県農業総合センター・作物園芸部・専任講師)

被災農地の農業再生のデザインー資源作

森田 茂紀 (東京大学大学院農学生命科学研究科・附属生態調和農学機構・助教)

福島水田におけるイネのセシウム吸収の品種間差

藤原 徹 (東京大学大学院農学生命科学研究科・応用生命化学専攻・教授)

自然凍結融解を利用した農地除染の試み

溝口 勝 (東京大学大学院農学生命科学研究科・農学国際専攻・教授)

警戒区域内で原発事故後150日間飼養された原種ブタの生殖機能について(中間報告)

眞鍋 昇 (東京大学大学院農学生命科学研究科・附属牧場・教授)

李 俊佑 (東京大学大学院農学生命科学研究科・附属牧場・助教)

海水魚のエラからセシウムが排出される

金子 豊二 (東京大学大学院農学生命科学研究科・水圏生物科学専攻・教授)

事故当年にモモ樹体内に移行した放射性核種(の本年度)の動態

高田 大輔 (東京大学大学院農学生命科学研究科・附属生態調和農学機構・助教)

放射性物質と食の安全を市民はどう捉えたか

細野 ひろみ (東京大学大学院農学生命科学研究科・附属生態調和農学機構・准教授)

閉会の辞 長澤 寛道 東京大学大学院農学生命科学研究科長

日 時／2012年5月26日(土)13:00～17:00

場 所／東京大学安田講堂

対 象／一般(どなたでも参加できます)

定 員／600名(当日先着順、事前登録不要)

参 加 費／無料

※お車のご来場はご遠慮願います。

主 催：東京大学大学院農学生命科学研究科 後 援：東京大学救援・復興支援室

第三回
影響について
放射能の農畜水産物等への影響

エネルギー作物

イネの品種間差

除染の試み

原種のブタ

果樹

海水魚

市民意識

2012年9月8日(4回目)



ー東日本大震災に関する救援・復興に係る 農学生命科学研究科の取組みー

●プログラム

開会の辞 長澤 寛道 東京大学大学院農学生命科学研究科長

農学生命科学研究科全体の取組について

中西 友子 (東京大学大学院農学生命科学研究科・附属放射性同位元素施設・教授)

福島県農産物に対する放射性物質の影響調査

二瓶 直登 (福島県農林水産部 農業支援室 環境保全農業課・主査)

今、森林にある放射性セシウムは、これからどこへいくのか?

大手 信人 (東京大学大学院農学生命科学研究科・森林科学専攻・准教授)

海水魚におけるセシウムの取込みと排出

金子 豊二 (東京大学大学院農学生命科学研究科・水圏生物科学専攻・教授)

農地土壌の除染と空間線量率低減の関係～GISを用いた除染効果の簡易推定～

吉田 修一郎 (東京大学大学院農学生命科学研究科・生物・環境工学専攻・准教授)

トレーサー実験で見る水稲中での放射性セシウムの移動

小林 奈通子 (東京大学大学院農学生命科学研究科・附属放射性同位元素施設・学際農学特別研究員)

汚染された樹体から、どの程度の放射性セシウムが果実に移動したか?

高田 大輔 (東京大学大学院農学生命科学研究科・附属生態調和農学機構・助教)

市民のリスク知覚と放射性物質

中嶋 康博 (東京大学大学院農学生命科学研究科・農業・資源経済学専攻・教授)

閉会の辞 長澤 寛道 東京大学大学院農学生命科学研究科長

(司会)

田野井 慶太郎 (東京大学大学院農学生命科学研究科・附属放射性同位元素施設・准教授)

・当日は、研究報告会の模様をライブ配信します。

配信 URL: <http://www.s.u-tokyo.ac.jp/rjtu/event/20120908u.html>

・研究報告会ではtwitterを利用した質疑応答を試行いたします。

問を受け付けるタグは、#uta120908 です。

2012年9月8日(土)

13:00～17:00

東京大学弥生講堂・一条ホール

対 象／一般(どなたでも参加できます)

定 員／300名(当日先着順、事前登録不要)

参 加 費／無料

※お車のご来場はご遠慮願います。 ※定員を超えた場合、入場をお断りすることがあります。

主 催：東京大学大学院農学生命科学研究科 後 援：東京大学救援・復興支援室

第四回
影響について
放射能の農畜水産物等への影響

森林・河川

除染の試み

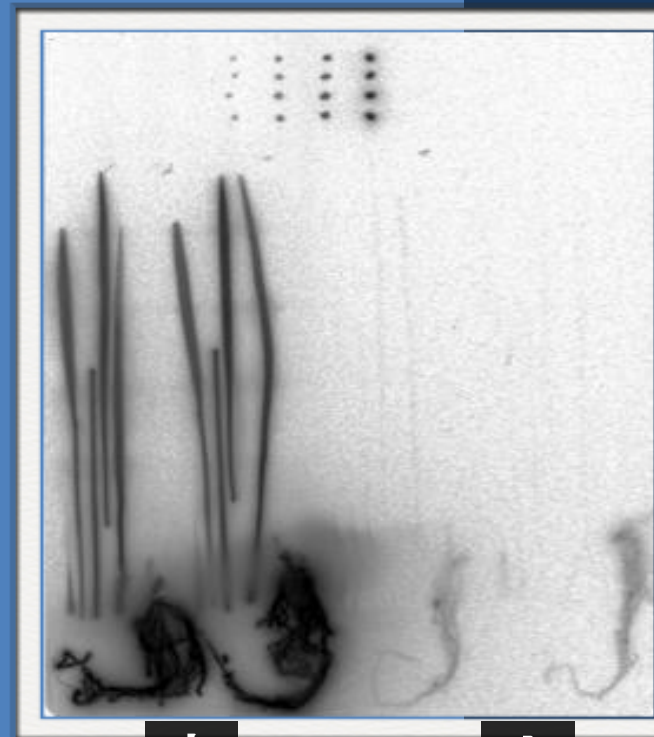
イネ実験

果樹の除染

イネによる ^{137}Cs 吸収の可視化

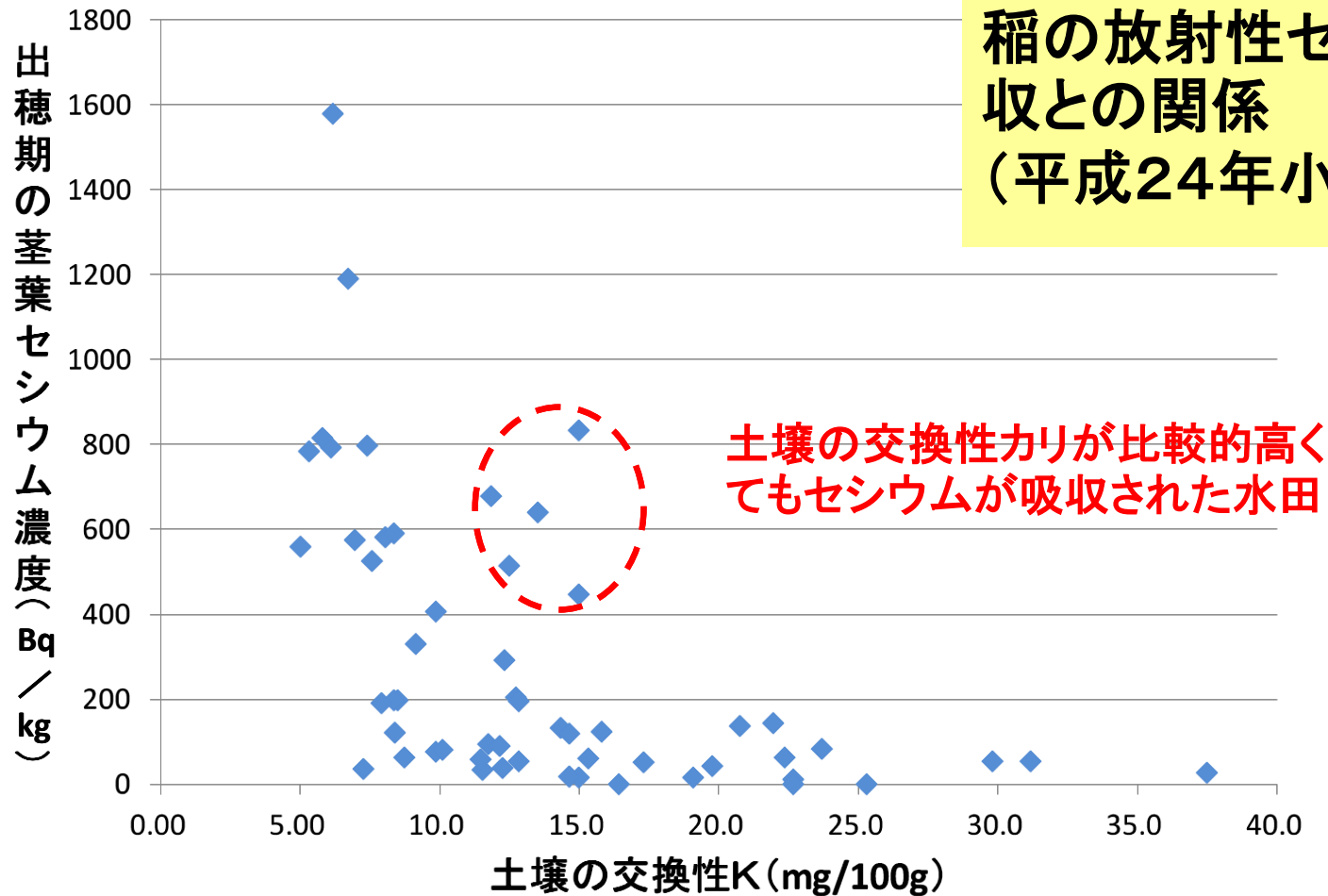


水 土



水 土

土壌の交換性カリ濃度と
稲の放射性セシウム吸
収との関係
(平成24年小国地区)



「はずれ値」水田が存在する。

2012年12月8日(5回目)

2013年4月20日(6回目)



— 東日本大震災に関する救援・復興に係る 農学生命科学研究科の取組み —

●プログラム

開会の辞 長澤 寛道 東京大学大学院農学生命科学研究科長

農学生命科学研究科全体の取組について

中西 友子 (東京大学大学院農学生命科学研究科 附属放射性同位元素施設 教授)

休眠期に汚染された落葉果樹における放射性物質の移行動態と経年減衰効果

佐藤 守 (福島県農業総合センター 果樹研究所栽培科 専門研究員)

福島第一原子力発電所事故に起因する放射性核種で汚染された有機肥料として使用する有畜循環型農業について

眞鍋 昇 (東京大学大学院農学生命科学研究科 附属牧場 教授)

福島県の漁業に関する現状と今後の課題

八木 信行 (東京大学大学院農学生命科学研究科 農学国際専攻 准教授)

放射性セシウムのイネへの移行 (第3報)

根本 圭介 (東京大学大学院農学生命科学研究科 生産・環境生物学専攻 教授)

飯館村の水田における農業土木的土壌除染法の試み

溝口 勝 (東京大学大学院農学生命科学研究科 農学国際専攻 教授)

放射能の生物濃縮: Ag-110mを中心に

森 敏 (東京大学 名誉教授・大学院農学生命科学研究科 応用生命化学専攻)

閉会の辞 長澤 寛道 東京大学大学院農学生命科学研究科長

(司会)

田野井 慶太郎 (東京大学大学院農学生命科学研究科 附属放射性同位元素施設 准教授)

・当日は、研究報告会の様子をライブ配信します。
配信 URL: <http://www.a.u-tokyo.ac.jp/rpjt/event/20121208u.html>
・研究報告会ではtwitterを利用した質疑応答を試行いたします。
質問を受け付けるタグは、#uta121208 です。

2012年12月8日(土)
13:00~17:00
東京大学安田講堂

対象／一般(どなたでも参加できます)
定員／600名(当日先着順、事前登録不要)
参加費／無料

※お車のご来場はご遠慮願います。 ※定員を超えた場合、入場をお断りすることがあります。

主催：東京大学大学院農学生命科学研究科 後援：東京大学教養・復興支援室

第五回放射能の農畜水産物等への影響について研究報告会

果樹

家畜飼育

漁業

イネ

除染の試み

生物濃縮

第六回放射能の農畜水産物等への影響について研究報告会

農水省

福島大学

羊

土壌

キノコ

— 東日本大震災に関する救援・復興に係る 農学生命科学研究科の取組み —

●プログラム

開会の辞 古谷 研 東京大学大学院農学生命科学研究科長

農学生命科学研究科全体の取組について

中西 友子 東京大学大学院農学生命科学研究科 附属放射性同位元素施設 教授

農産物の放射性物質対策について

～「高濃度の放射性セシウムを含む米が発生する要因とその対策について」を中心に～

安岡 澄人 農林水産省 生産局総務課 生産推進室長

原子力災害に伴う食と農の「風評」問題対策と検査態勢の体

小山 良太 福島大学経済経営学類 准教授

福島県白河川辺で約1年半飼養された羊における放射性セシウムレベル

眞鍋 昇 東京大学大学院農学生命科学研究科 附属牧場 教授

土壌中の放射性セシウムの掘る舞いについて

西村 拓 東京大学大学院農学生命科学研究科 生物・環境工学専攻 教授

野生キノコの放射性セシウム汚染状況2年目の変化ー演習林の例から

山田 利博 東京大学大学院農学生命科学研究科 附属演習林 教授

閉会の辞 中西 友子 東京大学大学院農学生命科学研究科 附属放射性同位元素施設 准教授

(司会)

田野井 慶太郎 東京大学大学院農学生命科学研究科 附属放射性同位元素施設 准教授

・当日は、研究報告会の様子をライブ配信します。
配信 URL: <http://www.a.u-tokyo.ac.jp/rpjt/event/20130420u.html>
・研究報告会ではtwitterを利用した質疑応答を試行いたします。
質問を受け付けるタグは、#uta130420 です。

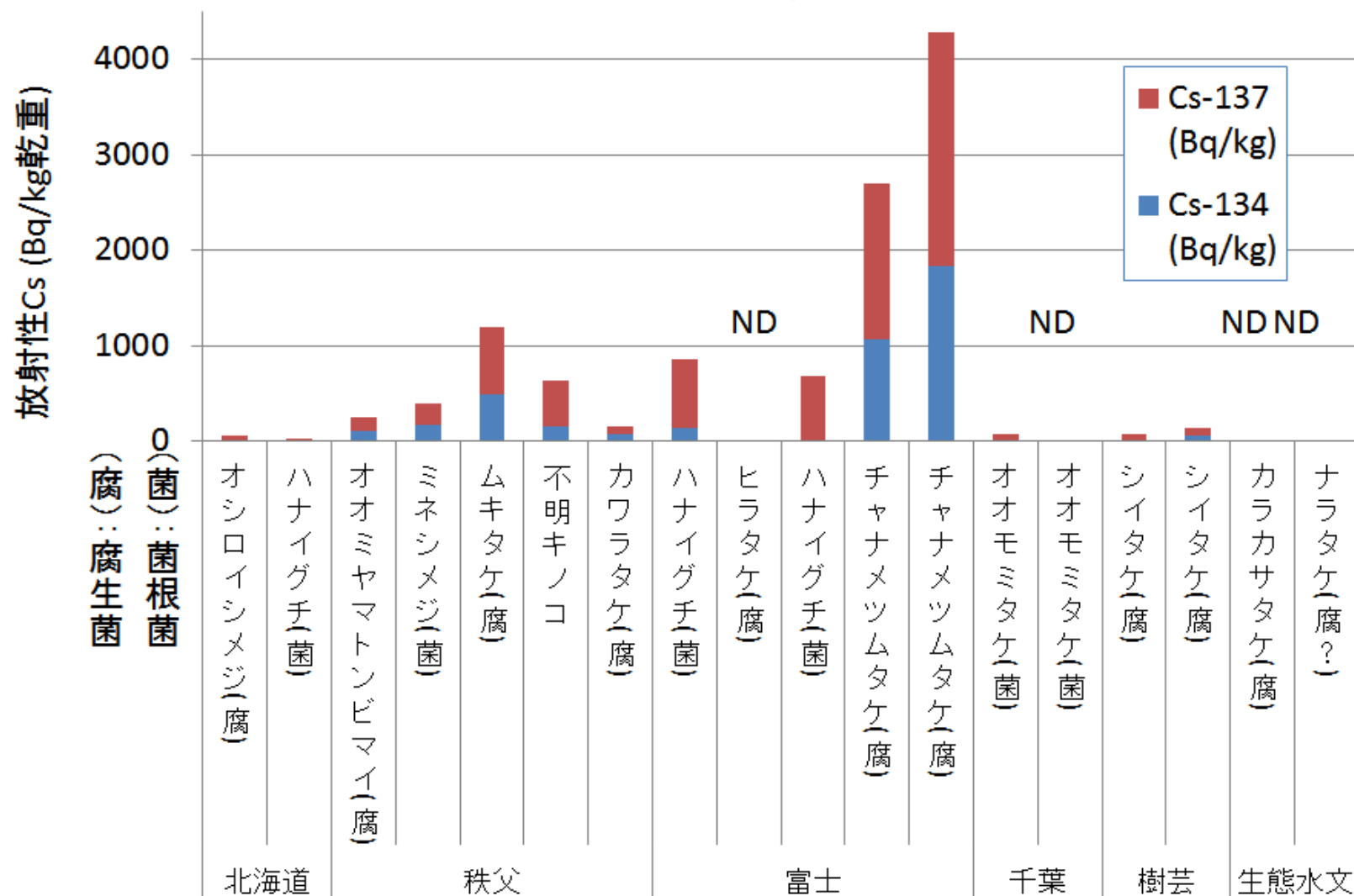
2013年4月20日(土)
13:00~17:00
東京大学 弥生講堂・一条ホール

対象／一般(どなたでも参加できます)
定員／300名(当日先着順、事前登録不要)
参加費／無料

※お車のご来場はご遠慮願います。 ※定員を超えた場合、入場をお断りすることがあります。

主催：東京大学大学院農学生命科学研究科 後援：東京大学教養・復興支援室

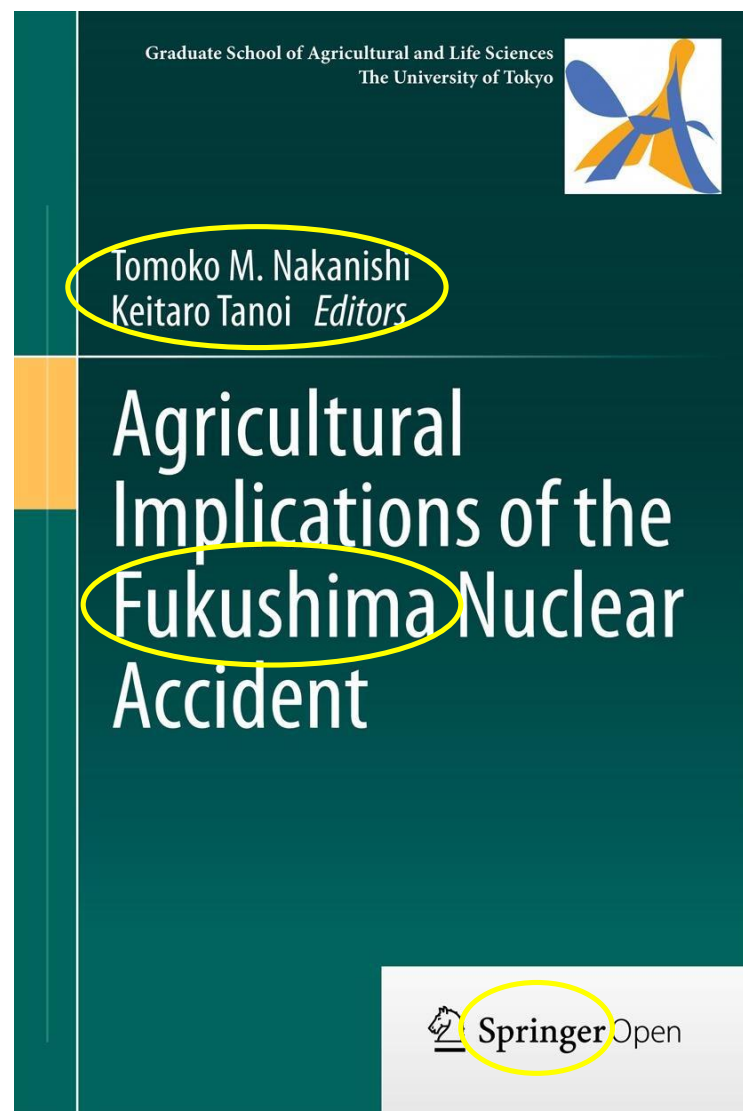
キノコの汚染状況



T. Yamada et al.

2013年4月出版

ダウンロードは無料(50ユーロ/冊)



(敬称略)

[内容] はじめに(長澤)、緒言(中西)

- 1章 農学部取り組み(中西)
- 2章 コムギなどイメージング(田野井)
- 3章 イネ栽培(根本)
- 4章 イネ品種間差(藤原)
- 5章 イネのCs吸収実験(小林)
- 6章 土壌(塩沢)
- 7章 低レベル汚染(大下)
- 8章 福島農産物のモニタリング(二瓶)
- 9章 動物(真鍋)
- 10章 魚肉加工過程(渡部)
- 11章 魚のCs排出(金子)
- 12章 鳥類(石田)
- 13章 土壌の除染(溝口)
- 14章 果樹(高田)
- 15章 キノコ(山田)
- 16章 環境中のCs動態(大手)
- 17章 サイエンスコミュニケーション(細野)

2013年8月10日(7回目)

2013年12月14日(8回目)

一 東日本大震災に関する救援・復興に係る 農学生命科学研究科の取組み一

●プログラム

開会の辞 古谷 研 東京大学大学院農学生命科学研究科長

農学生命科学研究科全体の取組について

中西 友子 東京大学大学院農学生命科学研究科 附属放射能

放射性物質の農地からの除去と農作物への移行低減に向けた農研機構の取組み

信濃 卓郎 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構

福島県農林水産物の放射性物質検査結果について

二瓶 直登 東京大学大学院農学生命科学研究科 附属放射性同位元素施設 准教授

放射性セシウムはどこから水系に流出したのか

～福島県のため池における蓄積量調査から～

塩澤 昌 東京大学大学院農学生命科学研究科 生物・環境工学専攻 教授

カリウム施肥によって変化する放射性セシウムとカリウム

小林 奈通子 東京大学大学院農学生命科学研究科 附属放射能

原発事故に起因する放射性核種が有畜循環型農業におよぼす影響について

高橋 友継 東京大学大学院農学生命科学研究科

眞鍋 昇 東京大学大学院農学生命科学研究科 附属放射能

地域社会と専門家の連携 ～大学にできること～

溝口 勝 東京大学大学院農学生命科学研究科 農学国際専攻 教授

閉会の辞 古谷 研 東京大学大学院農学生命科学研究科長

(司会)

田野井 慶太郎 東京大学大学院農学生命科学研究科 附属放射性同位元素施設 准教授

・当日は、研究報告会の模様をライブ配信します。配信 URL: <http://www.a.u-tokyo.ac.jp/rpji/event/20130810u.html>
・研究報告会ではtwitterを利用した質疑応答を試行いたします。質問を受け付けるタグは、#uta130810 です。

2013年8月10日(土)

13:00～17:00

東京大学 弥生講堂・一条ホール

対 象／一般(どなたでも参加できます)

定 員／300名(当日先着順、事前登録不要)

参 加 費／無料

※お車のご来場は、ご遠慮願います。 ※定員を超えた場合、入場をお断りすることがあります。

主 催：東京大学大学院農学生命科学研究科 後 援：東京大学教務・復興支援室

第七回放射能の農畜水産物等への
影響についての研究報告会

農水省

モニタリング

溜池

イネ実験

循環型畜産業

社会と大学

一 東日本大震災に関する救援・復興に係る 農学生命科学研究科の取組み一

●プログラム

開会の辞 古谷 研 東京大学大学院農学生命科学研究科長

農学生命科学研究科全体の取組について

中西 友子 東京大学大学院農学生命科学研究科

福島県における米の全量全袋検査の

丹治 昌仁 福島県農林水産部 水田稲作課 主査

放射性セシウムの果樹樹体内における動態

～土壌から樹体への移行も考える～

高田 大輔 東京大学大学院農学生命科学研究科 附属生態調和農学

水田湛水による周辺環境の放射線量低下

久保 成隆 東京大学大学院農学生命科学研究科

放射性セシウム汚染堆肥中で栽培した各種

高橋 友継 東京大学大学院農学生命科学研究科 附属放射能

眞鍋 昇 東京大学大学院農学生命科学研究科 附属放射能

チェルノブイリの経歴(ウクライナ出張報告)

小川 社 東京大学大学院農学生命科学研究科 附属放射性同位元素施設 特任教授

閉会の辞 古谷 研 東京大学大学院農学生命科学研究科長

(司会)

田野井 慶太郎 東京大学大学院農学生命科学研究科 附属放射性同位元素施設 准教授

・当日は、研究報告会の模様をライブ配信します。配信 URL: <http://www.a.u-tokyo.ac.jp/rpji/event/20131214u.html>
・研究報告会ではtwitterを利用した質疑応答を試行いたします。質問を受け付けるタグは、#uta131214 です。

2013年12月14日(土)

13:00～17:00

東京大学 弥生講堂・一条ホール

対 象／一般(どなたでも参加できます)

定 員／300名(当日先着順、事前登録不要)

参 加 費／無料

※お車のご来場は、ご遠慮願います。 ※定員を超えた場合、入場をお断りすることがあります。

主 催：東京大学大学院農学生命科学研究科 後 援：東京大学教務・復興支援室

第八回放射能の農畜水産物等への
影響についての研究報告会

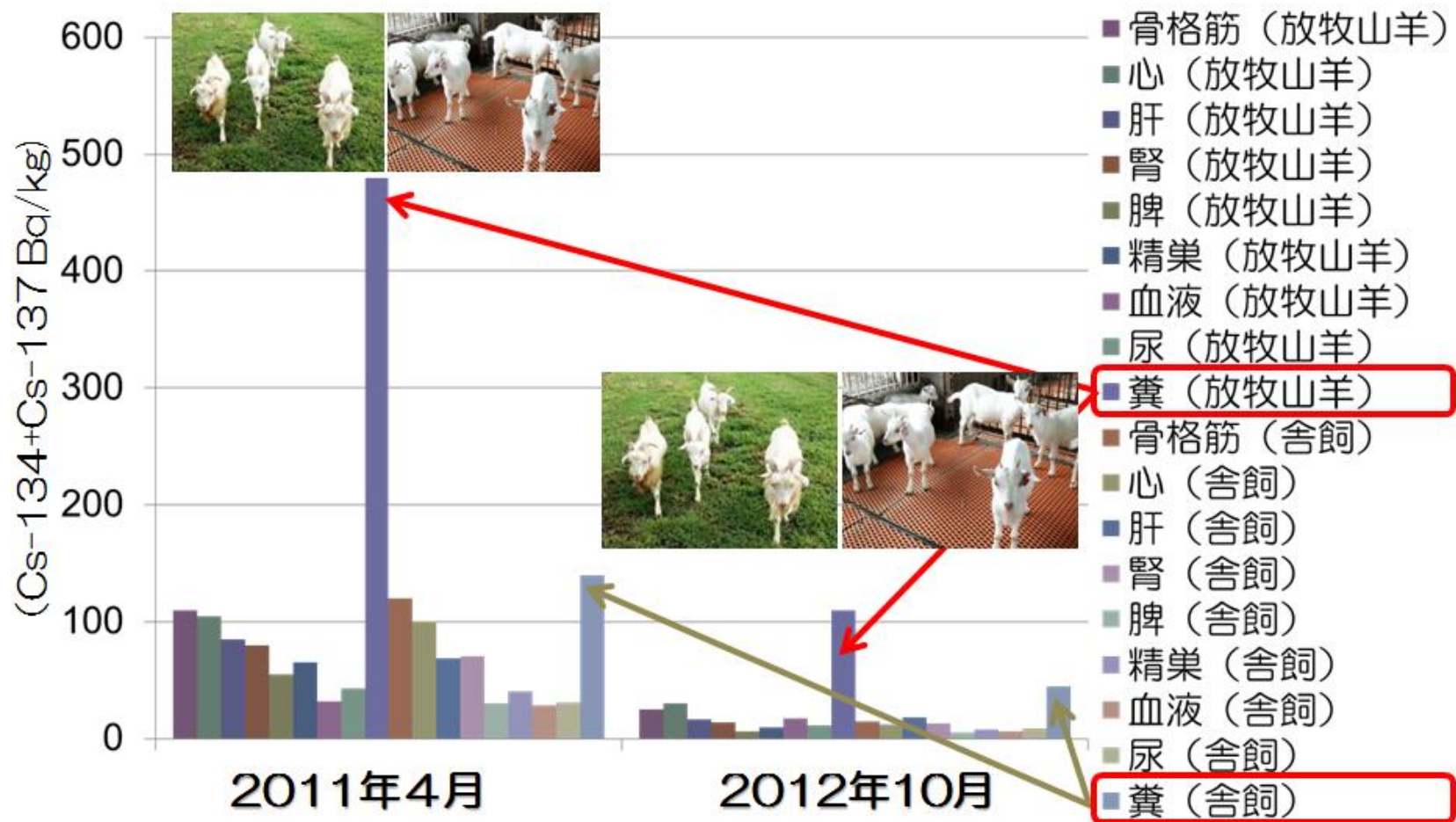
コメ全袋検査

果樹

除染の試み

堆肥汚染

チェルノブイリ



By Prof. Noboru Manabe

土壌汚染

フクシマの放射性物質のゆくえ

中西友子

Nakanishi Tomoko



NHKBOOKS

1208

セシウムは どこへ行ったのか

綿密な計測が明らかにした汚染の実態とは？

NHKブックス 時代の半歩先を読む

土壌汚染

フクシマの放射性物質のゆくえ



9784140912089



1921361009503

ISBN978-4-14-091208-9 C1361 ¥950E

定価: 本体950円 + 税



NHK出版 [刊]



中西友子

NHK
ブックス
1208

福島原発事故による
未曾有の放射性物質の飛散。
東大農学部の科学者たちが一丸となり、
土壌汚染の実態を明らかにした。
その全容を正確かつ平易にまとめ上げた、
またとない一冊！

2001年度ノーベル化学賞受賞者

野依良治

2014年6月14日(9回目)

2014年11月9日(10回目)

一 東日本大震災に関する救援・復興に係る 農学生命科学研究科の取組み一

●プログラム

開会の辞 丹下 健 東京大学大学院農学生命科学研究科

農学生命科学研究科の取組について

中西 友子 東京大学大学院農学生命科学研究科 附属放射性同位元素施設 教授

森林における放射性物質対策と林業再生に向けた取組み

大政 康史 林野庁 森林整備部研究指導課技術開発推進室 室長

木の中の放射性セシウム

益守 真也 東京大学大学院農学生命科学研究科 森林科学専攻 講師

放射性セシウムの地表面濃度の現場測定法と測定例

塩沢 昌 東京大学大学院農学生命科学研究科 生物・環境工学専攻 教授

セシウム蓄積の異なるイネの話

藤原 徹 東京大学大学院農学生命科学研究科 応用生命化学専攻 教授

ダイズの放射性セシウム吸収について

二瓶 直登 東京大学大学院農学生命科学研究科 附属放射性同位元素施設 准教授

閉会の辞 丹下 健 東京大学大学院農学生命科学研究科 副研究科長

(司会)

田野井 慶太郎 東京大学大学院農学生命科学研究科 附属放射性同位元素

・当日は、研究報告会の模様をライブ配信します。
配信 URL: <http://www.a.u-tokyo.ac.jp/rjpt/event/20140614u.html>
・研究報告会ではtwitterを利用した質疑応答を試行いたします。
質問を受け付けるタグは、#uta140614 です。

2014年6月14日(土)

13:00~17:00

東京大学 弥生講堂・一条ホール

対象／一般(どなたでも参加できます)
定員／300名(当日先着順、事前登録不要)
参加費／無料

※お車のご来場は、ご遠慮願います。 ※定員を超えた場合、入場をお断りすることがあります。

主催：東京大学大学院農学生命科学研究科 後援：東京大学教養・復興支援室

林野庁から

樹木

土壌

イネ

ダイズ

第九回放射能の農畜水産物等への影響に関する研究報告会

第十回

放射能の農畜水産物等への影響についての研究報告会

一 東日本大震災に関する救援・復興に係る農学生命科学研究科の取組み一

2014 11.9 日 10:30 ~ 17:00

会場 東京大学弥生講堂・一条ホール (主催) 東京大学大学院農学生命科学研究科 (協賛) 農水省・農研機構・農研機構

第十四となる本研究報告会では、
と社会との関わりからどのように
運動や被災支援活動に関わって
松本三和夫(科学社会学)とが幅広く報告する。また「第二部」では、農学生命科学研究科の教員による最新の研究成果の報告を行う。

科学・技術と「いのち」

構造災

イネ

土壌

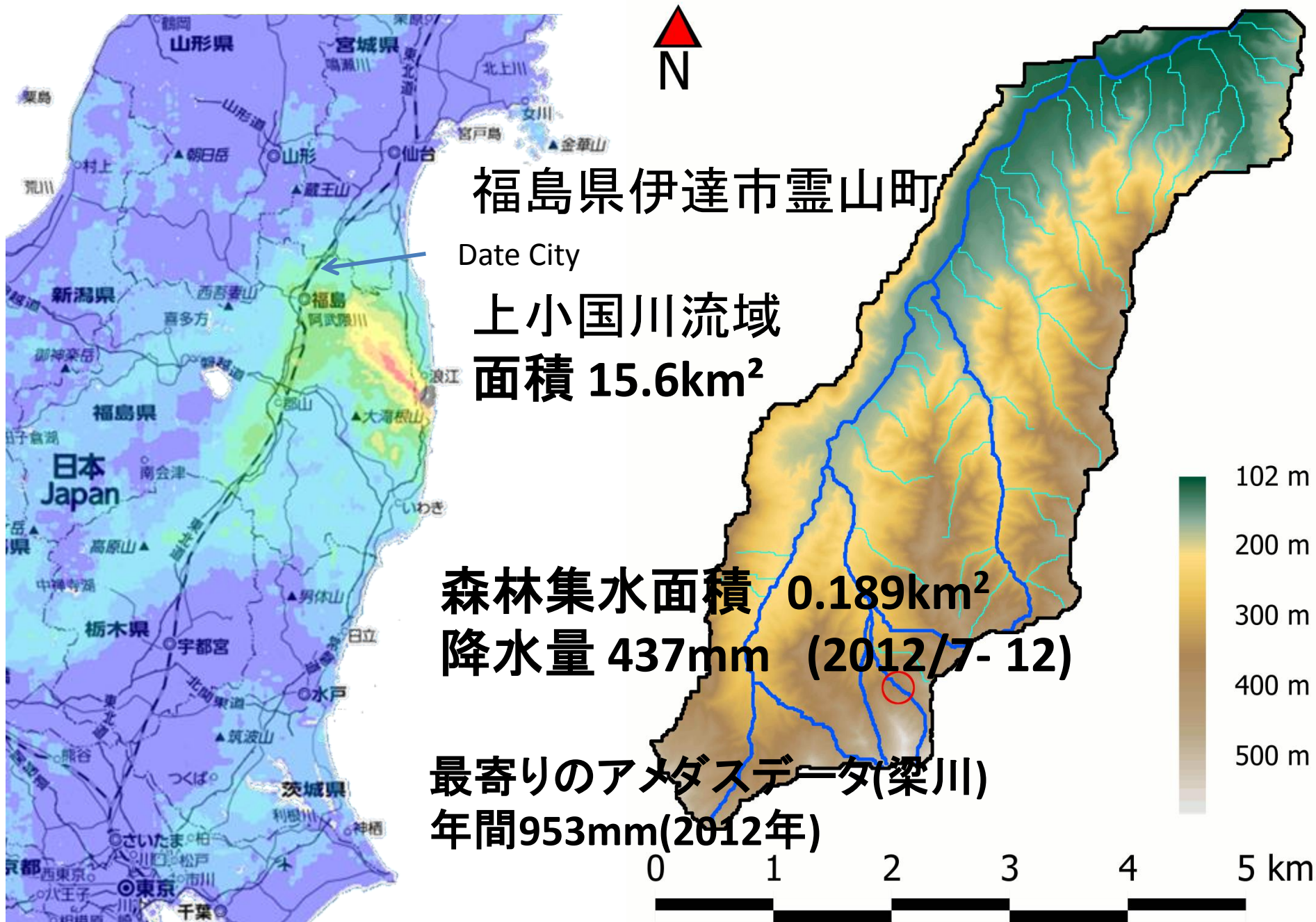
畜産業

森林

モニタリングと畑作

消費者意識

第一部	【司会】田野井 慶太郎(東京大学大学院農学生命科学研究科 附属放射性同位元素施設 教授)
10:30~10:35	第十回放射能の農畜水産物等への影響についての研究報告会 田野井 慶太郎(東京大学大学院農学生命科学研究科 附属放射性同位元素施設 教授)
10:35~11:15	科学・技術と「いのち」：住民運動や被災地支援活動と通じてみた科学技術と社会生活 似田良 香門(東京大学名誉教授 東京大学被災地支援ネットワーク 幹事代表)
11:15~11:55	福島原発事故の背景にある「構造災」を考えるー科学社会学の視点からー 松本 三和夫(東京大学大学院人文社会科学部 社会文化研究専攻 教授)
11:55~12:00	農学生命科学研究科の今後の活動の方向 飯島 正浩(東京大学大学院農学生命科学研究科 副研究科長)
第二部	【司会】田野井 慶太郎(東京大学大学院農学生命科学研究科 附属放射性同位元素施設 教授)
13:00~13:05	ご挨拶 古谷 研(東京大学大学院農学生命科学研究科長)
13:05~13:15	ご挨拶 三輪 孝太郎(農林水産省農林水産技術会議 会長)
13:15~13:30	農学生命科学研究科の取組について 中西 友子(東京大学大学院農学生命科学研究科 附属放射性同位元素施設 教授)
13:30~14:00	放射性セシウムのイネへの移行(第4報) 根本 圭介(東京大学大学院農学生命科学研究科 生産・環境工学専攻 教授)
14:00~14:30	放射性セシウムの土壌中の挙動、水系への流出 塩沢 昌(東京大学大学院農学生命科学研究科 生物・環境工学専攻 教授)
14:30~15:00	家畜と畜産物への放射性物質の影響：飼に起因する汚染後の対応 眞鍋 昇(東京大学大学院農学生命科学研究科 附属農場 教授)
(休憩)	
15:20~15:50	森林に降った放射性セシウムはどのようにしているのか、これからどこへいくのか？ 大寺 信人(京都大学大学院農学研究科 社会文化研究専攻 教授) (元 東京大学大学院農学生命科学研究科 附属放射性同位元素施設 教授)
15:50~16:20	福島県産農作物のモニタリング経過と畑作におけるセシウム吸収 二瓶 直登(東京大学大学院農学生命科学研究科 附属放射性同位元素施設 教授)
16:20~16:50	被災地産食品に対する消費者意識の調査 堀野 ひろみ(東京大学大学院農学生命科学研究科 附属放射性同位元素施設 教授)
16:50~16:55	閉会の言葉 中西 友子(東京大学大学院農学生命科学研究科 附属放射性同位元素施設 教授)



畜水産物等への影響についての研究報告会

会場 | 東京大学弥生講堂・一条ホール

〈主催〉東京大学大学院農学生命科学研究科
〈後援〉東京大学救援・復興支援室

第11回目となる研究報告会は2部構成で行います。

「I. 被災地復興へ農業ができること」、「II. 樹木のセシウム動態と林業」というテーマで、それぞれ3名の専門家が講演・討論を行います。

【司会】田野井 慶太郎〈東京大学大学院農学生命科学研究科 附属放射性同位元素施設 准教授〉

13:00～13:10 開会の辞 丹下 健〈東京大学大学院農学生命科学研究科長〉

13:10～ **被災地復興に向けて** 性同位元素施設 教授〉

13:30～15:00 **I. 被災地復興へ農業ができること**

講演「養蚕を通じた生業復活の試み～南相馬市小高区の取り組みを事例に～」
井上 岳一〈株式会社日本総合研究所 創発戦略センター マネジャー〉

講演「学民連携による飯舘村の農業再生に向けた取り組み」
菅野 宗夫〈飯舘村農業従事者・ふくしま再生の会理事〉
溝口 勝〈東京大学大学院農学生命科学研究科 農学国際専攻 教授・ふくしま再生の会理事〉

講演「福島県の農業復興に関する諸問題」
二瓶 直登〈東京大学大学院農学生命科学研究科 附属放射性同位元素施設 准教授〉

討論(15分)

15:00 **森林―樹木、果樹**

15:20～16:50 **II. 樹木のセシウム動態と林業**

講演「森林でのCs動態と林業活動の再開 ―コナラ林の樹体と土壌のCs分布―」
三浦 寛〈東京大学大学院農学生命科学研究科 附属放射性同位元素施設 特任准教授〉

講演「樹木と土壌間でのCs動態」
遠藤 いず貴〈東京大学大学院農学生命科学研究科 森林科学専攻 特任研究員〉

講演「果樹園でのCs動態 ―特に地下部におけるセシウムの移動について―」
高田 大輔〈東京大学大学院農学生命科学研究科 附属生態調和農学機構 助教〉

討論(15分)

16:50～17:00 閉会の辞 丹下 健〈東京大学大学院農学生命科学研究科長〉

「農業環境」と「食の安全」を対象とした 放射線の教育プログラム

大学院生+α

平成25年度より研究結果を踏まえた教育プログラムを開始
アグリコクーン:「農における放射線影響フォーラムグループ(FG6)」
講義＋実習

平成27年:
スウェーデン



1・2年生

平成26年度より研究結果を踏まえた教育プログラムを発展
総合科目:「人間・環境」

農業環境と食の安全を対象とした放射性物質動態学

謝辞：パーキンエルマー社
朝日工業株式会社
武蔵エンジニアリング株式会社

これからも継続的に現場に資する調査研究
を続けていこうと思っております。

おわり